



一般社団法人 静岡県安全運転管理協会

各地区安管協会の活動紹介

「交通死亡事故現場診断」を実施（令和3年8月中）

菊川地区、湖西地区、掛川地区、静岡中央地区、大仁地区の安全運転管理協会は、それぞれの地区内で発生した交通死亡事故の再発防止を期して、この8月中に管轄警察署の「交通死亡事故現場診断」に参加し、今後の対策を協議しました。

【菊川地区】

8月5日(木)、警察本部、菊川警察署、御前崎市役所、安協菊川地区支部等関係団体と菊川地区安全運転管理協会から副会長、事務局長2人が参加、合計20人で7月17日(土)午前、御前崎市合戸地先の市道で発生した交通死亡事故（普通乗用車が建物の外壁に衝突した交通事故で、同乗者の18歳男性が死亡）の事故現場診断を行いました。

この事故現場は、片側1車線の緩やかなS字道路で、参加者による現場診断及び事故防止対策を協議した結果、

- 信号機がなくスピードを出し易いため、速度抑制を注意喚起する看板設置
- 高齢者とともにヤングドライバーに対する安全走行の広報活動を実施

などの意見が出され、今後の交通安全活動に反映させることとしました。



【事故現場の状況】



【現場診断を実施】



【再発防止対策を検討】

【湖西地区】

8月6日(金)、湖西警察署の呼掛けで湖西市役所、浜松・湖西両土木事務所、地域交通安全推進員、地元自治会、安協湖西地区支部等関係団体とともに、湖西地区安全運転管理協会から中村会長、小口副会長、事務局長3人が参加、合計27人により、7月28日(水)午前、湖西市岡崎地先の主要地方道で発生した交通死亡事故(自転車走行中に道路案内標識柱へ衝突した事故、自転車の89歳男性が死亡)の事故現場診断を行いました。

事故現場は、陸橋道路の歩道上で、自転車の進行方向が下り坂となっており、現場診断及び事故防止対策を協議した結果、

- 歩道上に自転車通行帯等のラインを引き、走行エリアを明確にする。
- 自転車運転者や歩行者等高齢者を主体に交通安全の指導広報を実施する。

など、事故防止対策に関する意見が出されました。



【湖西警察署長から事故状況を説明】



【事故現場の状況】



【参加者による現場診断】



【再発防止対策を協議】

【掛川地区】

8月11日(水)、警察本部交通企画課、掛川警察署、掛川市役所、袋井土木事務所、安協掛川地区支部等関係団体とともに掛川地区安全運転管理協会から事務局長が参加し、合計15人により、

7月21日(水)の午後、掛川市入山瀬地先の県道で発生した交通死亡事故
(普通乗用車と軽四乗用車が正面衝突した事故、軽四同乗者の67歳女性が死亡)の事故現場診断を行いました。

事故現場は、見通しの良い片側1車線の直線道路で、追い越しやはみ出し禁止の規制がない状況であり、現場診断及び事故防止対策を協議した結果、

- 正面衝突を回避するため、「追い越しのための右側部分はみ出し通行禁止」の規制を検討し、道路標示及び道路標識を整備する。
- 関係団体により、通行車両や地元住民に対する事故発生の注意喚起と交通安全広報活動を継続して実施する。

など、事故防止対策に関する意見が出されました。



【事故現場の側道において掛川署員からの事故概要説明と再発防止対策を協議する参加者】

【静岡中央地区】

8月17日(火)、警察本部交通企画、静岡中央警察署の呼掛けで、静岡市葵区役所等とともに、静岡中央地区安全運転管理協会から副会長、事務局長等3人が参加し、合計12人により、

8月1日(日)午前、静岡市葵区梅ヶ島地先の主要地方道で発生した交通死亡事故
(上り坂を走行中の軽四乗用車と下り坂を走行していた自転車との衝突事故で、
自転車に乗っていた43歳男性が死亡)

の事故現場診断を行いました。

事故現場は、山間の緩やかなカーブが続く勾配のある道路で、参加者により現場診断及び事故防止対策を協議した結果、

- 対向車両の見通しが悪いため、より大きなカーブミラーの設置を検討する。
- カーブへ進入する手前でライトオンを促す等注意喚起の看板を設置する。
- 各関係団体において、事故発生を受けた交通安全広報活動を推進する。

など、事故防止対策に関する意見が出されました。



【静岡中央署交通課員の概要説明】



【現場診断の状況】



【再発防止対策を協議】

【大仁地区】

8月18日(水)、警察本部交通規制課、大仁警察署、伊豆の国市役所、沼津土木事務所、安協大仁地区支部等関係団体と大仁地区安全運転管理協会から事務局長が参加し、合計15人により

7月31日(土)の深夜、伊豆の国市南江間地先の伊豆中央道での交通死亡事故(普通貨物車と軽四乗用車が正面衝突した事故、軽四乗用車の23歳男性が死亡)の事故現場診断を行いました。

この事故現場は、片側1車線の見通しの良い直線道路で、参加者による現場診断及び事故防止対策を協議した結果、

- 現場道路を追い越し禁止やはみ出し禁止の交通規制を検討する。
- 中央分離帯がないため、ポストコーンの設置等を検討する。
- 事故発生に伴い、ドライバー等に対する安全走行の広報活動を推進する。

などの意見が出され、今後の交通安全活動に反映させることとしました。



【大仁警察署交通課員による事故概況説明】



【現場確認の様子】



【再発防止対策を協議】